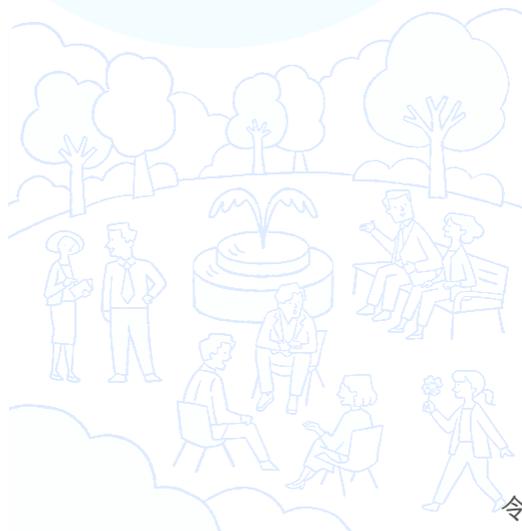


# 施設レビュー 結果

～東海村 “自分ごと化会議”  
公共施設の在り方を考える～



令和5年8月26日(土)、27日(日)

施設レビュー(課題抽出)実施

## 目次

1. 対象施設区分(4区分) .....	1
2. 対象施設一覧(20施設) .....	1
3. 施設レビューの大まかな流れ.....	2
4. レビュー冒頭のやり取り(目的の確認) .....	3
5. 施設レビューで一般化された(共通の)課題.....	3
6. “自分ごと化会議”テーマ .....	4
7. 施設区分毎レビュー結果.....	6
◇区分1_市民文化系施設.....	6
◇区分2_社会教育系・スポーツ・レクリエーション系施設.....	11
◇区分3_保健福祉施設.....	15
◇区分4_行政系施設・産業系施設 .....	20
8. 施設評価シート様式(参考) .....	24

## ■ 1.対象施設区分(4区分)

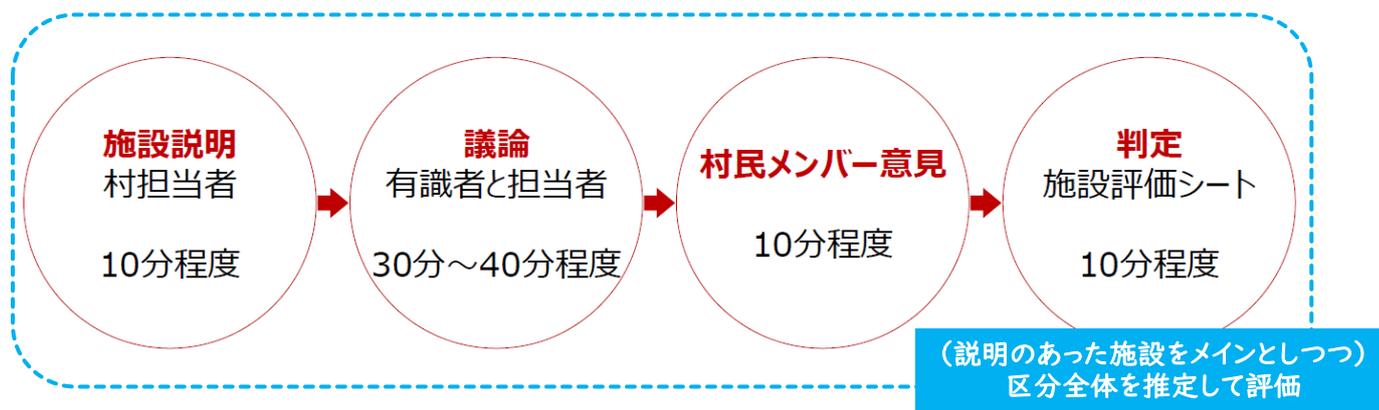
No.	区分	施設区分名	施設数
1	区分1	市民文化系施設	9施設
2	区分2	社会教育系・スポーツ・レクリエーション系施設	6施設
3	区分3	保健福祉施設	3施設
4	区分4	行政系施設・産業系施設	2施設

## ■ 2.対象施設一覧(20施設)

No.	区分	施設名	「公共施設概要」 頁数
1	区分1	石神コミュニティセンター	P.6-P.41
2		村松コミュニティセンター	
3		白方コミュニティセンター※	
4		真崎コミュニティセンター	
5		中丸コミュニティセンター	
6		舟石川コミュニティセンター	
7		東海村姉妹都市交流会館	
8		東海村中央公民館	
9		東海文化センター※	
10	区分2	東海村総合体育館※	P.42-P.81
11		東海スイミングプラザ	
12		東海村テニスコート	
13		東海村立図書館※	
14		東海駅コミュニティ施設	
15		東海村歴史と未来の交流館	
16	区分3	東海村総合支援センター(なごみ)	P.82-P.99
17		東海村総合福祉センター(絆)※	
18		東海村村民活動センター	
19	区分4	東海村役場※	P.100-P.112
20		東海村産業・情報プラザ(アイヴィル)※	

※施設レビューの際に、施設所管課から説明を行った施設

### ■3.施設レビューの大まかな流れ



上記のように「参加者」は「有識者」と「施設所管課」のやり取りを見て評価シートを記入（論点整理）、という手法がベーシックですが、今回、東海村としては抽出する「テーマ」に参加者（住民メンバー）の意見がより反映されるよう「議論」のステップに村民メンバーも参画する（意見、課題を述べる）という手法を選択



#### 住民意向をふまえたテーマ設定（論点整理）



## ■4.施設レビュー冒頭のやり取り(目的の確認)



令和5年度村政施策等に関する村長説明要旨に「バックキャストिंग」と書いてあった。これはとても良いこと。公共施設の在り方を考えるにあたり、何をバックキャストिंगしながら議論すれば良いか？公共施設等総合管理計画の数値目標(25%削減)を前提に議論をした方が良いのか？村長のお考えをまず確認したい

### 外部有識者

理想としては、住民の皆様「**ありたい姿**」を考えてほしい。

自分たち(役所)は計画をつくって推進していくが数字ありきになってしまう。

「**あるべき**」ではなく「**ありたい姿**」という視点で議論してほしい。役所は役所で計画を数値目標にそって推進していく必要はあるが、まずは**ありたい姿**を議論してもらい、これからの社会情勢を考えた上で「**こういう施設は残したいよね**」という議論ができれば良い。みなさんの議論の中で「**現状は維持したい**」という結論になれば、それを踏まえて考えていく必要はあると思う。なので、議論にあたって総合管理計画の数字にしばられる必要はない



### 山田村長

## ■5.施設レビューで一般化された(共通の)課題

No.	施設レビューで一般化された(共通の)課題	具体的な課題
1	■公共施設の「ありたい姿」とは何か?	①ありたい姿の明確化②ビジョンを持つ ③方向性をはっきりさせる
2	■東海村ならではの公共施設とは何か?	①東海村「ならではの」「らしさ」とは?②この村のストーリー
3	■まちづくり全体ビジョンにおける公共施設の価値は何か?	①公で運営する意義②自宅と仕事以外の 3rd プレイス ③時代にあった役割④機能面での役割
4	■公共施設の将来像を考える	①どういう機能がどれくらいあったら良いのか?
5	■現状を知るために必要なことは?	①実利用者数の把握②外部による事業の評価 ③利用状況の分析
6	■利用者数を増やすために必要なことは何か?	①魅力的なコンテンツ②民間の運営ノウハウを参考 ③潜在的なニーズを把握
7	■使いやすい公共施設にするために必要なことは何か?	①開館時間の拡充②バリアフリー化③デジタル化
8	■住民にもっと知ってもらうために必要なことは何か?	①情報発信(広報の仕方、PR方法、SNSの活用)
9	■収益はどう考えたら良いか?	①収益の考え方、仕組みづくり②公共マネジメントの視点 ③競争化④自らが稼ぐ手段を考える
10	■受益者負担はどう考えたら良いか?	①使用料金の決定方法(利用者ごと(村民、村民以外)) ②条例改正の検討
11	■効率化(コスト削減など)に必要なことは何か?	①無駄な料金(光熱水費等)の削減②低コスト運営
他	■各個別施設に関する意見 ■その他	①市民文化系施設②社会教育系・スポーツ・レクリエーション系施設③保健福祉施設④行政系・産業系施設

⇒施設レビューで一般化された(共通の)課題をもとに、“自分ごと化会議”のテーマを設定

## ■6.東海村“自分ごと化会議”テーマ

メインテーマ

東海村の公共施設 **「ありがたい姿」** を考える！

～わたしが公共施設に求める価値（コト）とは??～

議論テーマ

**「有効活用」**  
を  
考える！

議論テーマ

**「収益性」**  
を  
考える！

～利用者アップ・収益アップの仕掛けづくりについて考えよう～

## ■7.施設区分毎レビュー結果

### ◇区分 1\_市民文化系施設

#### ①判定(個別施設ではなく区分毎に判定)

区分	有効活用(利用状況)について						維持管理について					
	適正	見直しが必要					適正	見直しが必要				
		事業内容	民間活用	使用用途	他	受益者負担		管理手法	総量	他		
外部 有識者	0	4	3	1	1	1	0	4	2	3	2	0
参加者	3	8	2	2	4	1	1	10	3	3	2	3

#### ②施設評価シートと有識者(参加者)コメントのまとめ



キーワード・ポイント

ありたい姿・ビジョン

収益アップの考え方

情報発信

バリアフリー

#### ■東海村の公共施設「ありたい姿」を考える!

住民の活動、行政の事業展開を判断するにあたっては、公共施設の「ありたい姿」や全体ビジョンを明確にした上で、各施設がどういった役割を担っているのかを、時代にあった形で再定義し、目的を達成するために、より効果的な手段を模索し、また、将来的に、どういった機能でどれくらいの数があれば良いのかを考える必要があるのではないか

#### ■「有効活用」を考える!

公共施設を「有効活用」するためには、まずは、現状を知るために、データ(例えば、実利用者)に基づいた分析を行い、村民のニーズを把握した上で、どういった事業が求められているのかを、他自治体や民間の運営ノウハウを参考にし、誰もが利用しやすい環境(バリアフリー等)を整え、魅力的なコンテンツを情報発信していく必要があるのではないか

#### ■「収益性」を考える!

公共施設を適正運営していくためには、村は収益を上げるために、コスト削減と**収益アップ**の双方からのアプローチが必要であり、利用料金の見直しや新規対象者の獲得の検討が必要ではないか、一方で収益が少ないのであれば、施設自体なくすことも選択の一つではないか

### ③施設評価シートに記載された意見

#### ■東海村の公共施設「ありたい姿」を考える!

##### 1. 公共施設の「ありたい姿」とは何か?

- 全体としてのビジョン(ありたい姿)を明確にし、そこからバックキャストिंग、施設の役割を再定義し、今やるべきことをより効果的な手段を考えていきたい

##### 2. 東海村ならではの公共施設とは何か?

- 特になし

##### 3. まちづくり全体ビジョンにおける公共施設の価値は何か?

- 村全体の戦略とビジョンとその手段としての施設というのがあるべき関係性だと感じ、その上で、何を担う施設なのか、何を目標として、いつどうやって達成するのかといったロードマップがもう少し具体的に設定されるべきだと感じる
- 新たなコミュニティの在り方として、デジタル化の推進も重要ですが、一方、直接会って話すことも重要なので、コミセンのような場所は重要
- コミセンは防災拠点と考え、設備の充実を目指してほしい
- コミセンは地域の拠点と考えると子供、老人が集まる場所としてはどうでしょうか?
- コミセンの避難所としての役割をもっと大きくしても良いと考えます
- 東海村の近くには、県施設等もあり、東海村に在ることの意義や民間ではなく、公で運営することの意義を明確にすることが重要
- 防災訓練などで使用
- コミュニティセンターは東海駅から遠い地域は、図書館等へのアクセスが悪くなるので、個々のコミセンごとに施設の重点を変えて、東海村のどこに住んでも一定の教育文化レベルが得られるようになるが良い
- 収入を得る観点よりも、誰もが福利を得られることが大事
- 時代とともに、施設の使われ方が変化してくるので、それに応じて施設、設備を改造していくことが大事
- 村内の人だけでなく、村外の人でも使用できる面が○

##### 4. 公共施設の将来像を考える

- コミセンが小学校単位ですが、中学校単位でも見直しも考えても良いとおもう
- 増やそうとする意志には何も思わないが、減らそうとする意志には反対
- 集中と選択は必要と思う
- コミュニティセンター6施設をまとめる担当課が、それぞれの施設の目的を生かした総括的運営方

針・指針を立案すべきであり、それを基にスクラップアンドビルド

## ■「有効活用」を考える!

### 1. 現状を知るために必要なことは?

- コミセンで図書施設以外の無料スペースの利用率と有料スペースの利用率を精査すべきでは?
- 営利施設ではないと思いますので、コストや利益を強調する必要は無いとおもいますが、文化向上、住民の連帯意識の高揚という目的に対して、寄与できているかの評価をしていただきたい
- コミセンで一番使用されている多目的ホールが午後5時以降が1時間500円に設定している理由を知りたい
- 公共建築物の使用期間、10年延長では短くないでしょうか?
- 指定管理者の決定や評価の仕組みが適切に実施できているか気になり、特にコスト面やマンネリになっていないのか

### 2. 利用者数を増やすために必要なことは何か?

- 利用状況や潜在的なニーズを事業別に把握することで施設の稼働率や利用者の増加が図られ、管理手法や指定管理の裁量アイデアの見直しも有効に機能するのではないかと
- 高齢者や弱者の方に寄り添う姿勢も大切ですが、若い方に対して使いやすくすることで広がり方が変わるように思います
- 全体的に調理室の使用率が低いため、調理室が必要となるレジャー活動を使用できるような場所づくり(もともとある場所の足下を変化)
- バーベキュー施設や調理室があまり使用されていなかったようなので、それらを使ったイベントや教室などをやってみるのはいいのではないかと思う
- どのような事業が求められているのか、住民の意見や他自治体の例を参考にイメージを膨らませていくと良いと感じた
- 使用率をあげるなら使用する可能性の学生をターゲットにすべき
- コミセンは村内文化団体又は、地区常会に委託すべき
- 低使用が多いと思いますので、利用率アップを考えてほしい

### 3. 使いやすい公共施設にするために必要なことは何か?

- 予約に関して、二度手間になるようなことを減らしたい
- コストの問題でバリアフリー化ができないとは今の時代では考えられないので、まずは支出すべき

### 4. 住民にもっと知ってもらうために必要なことは何か?

- 周知は公式LINEやTwitterなどを利用
- 多くの方に使っていただくための発信の仕方も工夫できそうです
- 広報など民間を利用することも検討してみてもいいかもしれません

## ■「収益性」を考える!

### 1. 収益はどう考えたら良いか?

- 行政はマーケティングをしていない印象
- 競争化によって収益を上げる
- 収益の上がる事業計画とイベントの企画立案
- 私は一度も利用したことがないが、運営に97%が一般財源から賄われていることは驚きました

## 2. 受益者負担はどう考えたら良いか？

- 使用料金はどのように決定しているのか
- コミセンでは施設利用が一般営利目的ともあまりにも安すぎる
- 1部屋当たりの徴収ではなく、安くても良いので、せめて利用者全員から徴収した方がよいのではないか
- 安すぎるのは、一部の人たちのたまり場になってしまうのではないのでしょうか？
- 低コストは良いが、収益があまりにも低いと思うので、利用料のアップ

## 3. 効率化（コスト削減など）に必要なことは何か？

- 文化センターは新規建て替えを前提に当面10～15年は低コスト運営が良いと思います

### ■個別施設に対する意見

- 文化センターでは収容人数が少ないなら、少ないなりに鑑賞事業を検討すべきであり、有名人やアイドルにこだわる必要はない
- 文化センターでのバリアフリー化の必要性
- 文化センターの運営に関して指定入札団体を複数化していく必要がある
- ウォーキングをするのですが、コミセンではトイレを24時間使えるようになっていなく、例えば時間外の管理は地域の住民がする
- 私の地元の話だが、コミセンはほとんどいつも同じメンバーばかりがいた
- 小中の時にあった芸術鑑賞会みたいな、舞台や音楽を使ったのをやるのはどうだろうか
- 将来の職場体験みたいなことが出来たら子供たちの将来にもつながり、文化センターを使いきっかけにもなるのではと思います
- 文化センターではエレベーターを取り付ける
- 文化センターでは親子とも楽しめる方をお呼びしてみるのはいかがでしょうか
- 文化センターは今後の改修時期、内容について、給排水衛生設備更新工事、消防施設更新工事の方が、照明改修よりも優先順としては上ではないでしょうか

### ④有識者（参加者）コメント

#### ● 白方コミュニティセンター

- 村としての全体ビジョン（こうしていきたい）があつての公共施設地域をどうしたいのか、構想が必要では
- 極端なことを言えば「3%の収入」のために莫大な費用をかけるのであれば、その施設はなくても良

いのではないか、という考えもある

- 施設としての“ありたい姿”がないと、住民の活動、行政の事業展開、これらの良し悪しについての判断もできないのではないか
- 全体像（ビジョン）が検討できれば、各（6）コミセンに求められる機能の議論もすすむのではないか
- 収益アップの方法も、今の利用者にさらに使ってもらうのか、新たな対象（利用料金が倍になる村外）を拡大していくのか、それも考えないといけない。そういった意味で「実利用者」の把握・分析は必要
- 「顔の見える関係」はかならずしもフィジカルなものでなくても良いと考えられる。今はデジタル化が進んでいるので、それを活用しても（顔の見える関係で）コミュニケーションを図ることは可能

## ● 東海文化センター

- イベントをやるときに効果的な情報発信を（ターゲティング）
  - ⇒主催者ではなく、参加者からの発信強化を図ったほうが良い（インセンティブ検討）
- 魅力的なコンテンツの検討が必要（どんな人を呼べばイベントに来たくなるのか？）
- バリアフリー対策を進めたほうが良い。障がいを持った方からすると、対策がされているかどうか不安で足が遠のいてしまうこともある
  - ⇒1階ホールへの行き来については対策済今後は2階会議室を利用する場合の対策を検討
- 施設の運営を指定管理でやっているが、取り組みの効果についてきちんとチェック、評価できているか
  - ⇒内部の評価だけでは適正とは言えない

## ◇区分 2\_社会教育系、スポーツ・レクリエーション系施設

### ①判定(個別施設ではなく区分毎に判定)

区分	有効活用(利用状況)について						維持管理について					
	適正	見直しが必要					適正	見直しが必要				
		事業内容	民間活用	使用用途	他	受益者負担		管理手法	総量	他		
外部 有識者	0	4	3	1	1	1	0	4	1	4	1	0
参加者	6	4	2	2	0	0	3	7	3	4	0	0

### ②施設評価シートと有識者(参加者)コメントのまとめ



キーワード・ポイント

東海村「ならでは」とは?

民間の視点

事業の評価

デジタル化

#### ■東海村の公共施設「ありたい姿」を考える!

村全体としての戦略を明確(例えば、想いを文書化する)にし、図書館の在り方や、東海村で特色のあるスポーツ種目であるホッケーなどから、東海村「ならでは」を見出し、公共施設の価値として「どこを探してもない」ここにしかないものを提供できる場所としてや、3<sup>rd</sup>プレイスとして、身近にあるものとして位置付けるのはどうか?

#### ■「有効活用」を考える!

公共施設を「有効活用」するには、稼働率の高い施設のノウハウを他の施設に横展開することが必要であり、稼働率を上げるためには、運営側(指定管理者)の事業を客観的に評価することが重要であり、利用者が施設を効率的に使用できるようにするためには、予約や決済などのデジタル化(ただし、窓口での対応が必要な方のことも考慮する必要がある)を進めていくことを検討し、事業(レファレンスなども含め)をより知ってもらうためには広報に力を入れていくべきではないか

#### ■「収益性」を考える!

収益性をあげるためには、管理運営を見直すことは重要であり、その手段として民間の視点を取り入れ、事業の効率化を考えていくことが必要である体育館では、指定管理者制度を取っているがメリットである「民間

の活用しようとするもの」が活かせておらず、また、枠組みの制限のせいで受託者のやりたいことに制限がかかっているように思われるので、他市事例などを参考にして、見直していく必要があるのではないか

### ③施設評価シートに記載された意見

#### ■東海村の公共施設「ありたい姿」を考える!

1. 公共施設の「ありたい姿」とは何か?
  - 特になし
2. 東海村ならではの公共施設とは何か?
  - 東海村ならではの追求楽しみにしております
  - 体育館では東海村で特色のあるスポーツ種目(例えばホッケー等)の施設及びスタッフを充実させる
3. まちづくり全体ビジョンにおける公共施設の価値は何か?
  - 自宅と仕事以外の3rdプレイスとして、村の施設を位置づけるのも目的として良いと思います
  - 特に現役世代の過ごす場所は近くに少ないし、時間や自由にできる時間が少ないので身近にあると助かります
4. 公共施設の将来像を考える
  - 一般的な補修計画だけではなく、利用状況などを見ながら先回りした計画が作れると良いと感じました

#### ■「有効活用」を考える!

1. 現状を知るために必要なことは?
  - 体育館は稼働率が他施設より高いので、その運営ノウハウを水平展開して他施設(コミセン等)の運営に反映したらいいと思う
2. 利用者数を増やすために必要なことは何か?
  - 利用状況や企画は多岐にわたっており、裾野の拡がりへの努力を感じる
3. 使いやすい公共施設にするために必要なことは何か?
  - 予約や支払いの電子化は必要だとは思いますが、高齢者などの方のために窓口業務も残してほしい
4. 住民にもっと知ってもらうために必要なことは何か?
  - 特になし

#### ■「収益性」を考える!

1. 収益はどう考えたら良いか?
  - 民間の視点を少し入れてみても良いかと思いました
  - 施設をより良くするための管理運営体制について余地はあると思う
  - 現在の指定管理者制度が事業の効率化の改善や新たな発展を抑制する結果を招いている可能

性があるのではないか

## 2. 受益者負担はどう考えたら良いか？

➤ 特になし

## 3. 効率化(コスト削減など)に必要なことは何か？

- 現場の職員は、誠実に努めているが、仕組み全体の在り方、とりわけ DX に取り組む必要性があるのではないか
- 議論にもあったが、指定管理者が、一社独占状態なのは、競争原理が働かないので、コンペティターを探して、競わせるのが妥当

### ■個別施設に対する意見

➤ 古い施設を大切に使用していることが伝わってきた

### ④有識者(参加者)コメント

#### ● 東海村立総合体育館

- 指定管理の選定方法が疑問。「公募」というが他が入れないようになっていないか？
- 指定管理している事業への評価はどのようにやっているのか？話をきいていると客観性のある評価ができていないのではないか
- 施設のオンライン予約や、決済方法もそう。これらのことはすぐさま取り組める事項だと思う
- 指定管理は「民間の力を活用しようとするもの」。今回の説明を聞いているとそのメリットが十分に活かせていない。収入が村からの委託料と施設利用料だけでは、完全に「村の子会社」の印象
- スポーツフェスタは良い取り組み。「する(スポーツ)」に目が行きがちであるが「知る」ということにもしっかり取り組むと、さらなる裾野拡大につながると思う
- 指定管理は行政から決められた箱があてがわれて「そこで(事業を)やってくれ」となる。そういう意味では(受託者の)やりたいことも制限がかかるのだと思うが、全国で有効活用の優良事例等はないのか？  
⇒例) 笠間市のスケボーパーク:ムラサキスポーツに運営させている

#### ● 東海村立図書館

- 図書の選定(選定ビジョン)はどの程度整理しているのか
- レファレンスについて、良いサービスだと思うのでさらに知ってもらい、活用してもらうための取り組みを考えては  
⇒例) 学生の論文手助けをする等
- 今後の施設の展望について(大がかりな空調改修が予算計上されているように)快適設備に重きを置くのか、それとも図書館そのもののイノベーション(増改築する、ツタヤのようなイメージにしているか等)を考えているのか整理が必要

- 図書館に求めるものとしては「どこをさがしてもないもの」。書店では買えない本があったら嬉しい
- 蔵書戦略があるかどうか
  - ⇒将来的に「公共図書館」に求められるものは何なのか？
  - ⇒これまでずっと検討、話し合いしていること(ビジョン、想い)を文書化して「戦略化」することも大事
  - ⇒東海村に対する「シビックプライド」を醸成できるような蔵書(ストーリー化)。いろんな世界へ導いてくれるような図書館になってほしい(まちのストーリーを学ぶ蔵書選定)
  - ⇒キーワードは東海村「ならでは」
- こどもたちへの読みかきかせ等、非常に魅力的な取り組みをやっている
- 建物の雰囲気が非常に良い

## ◇区分 3\_保健福祉施設

### ①判定(個別施設ではなく区分毎に判定)

区分	有効活用(利用状況)について						維持管理について					
	適正	見直しが必要					適正	見直しが必要				
		事業内容	民間活用	使用用途	他	受益者負担		管理手法	総量	他		
外部 有識者	0	4	2	2	0	1	0	4	2	3	1	0
参加者	3	7	1	2	1	4	3	7	2	3	1	1

### ②施設評価シートと有識者(参加者)コメントのまとめ



#### キーワード・ポイント

事業評価

開館時間・料金

利用状況の分析

利用してもらいたい人

#### ■東海村の公共施設「ありたい姿」を考える!

村としての方向性をはっきりさせ、ハードソフトを含めたビジョンに基づき、それぞれの施設の役割を整理した上で位置付けるのが良いのではないかと。そのためには、**第三者評価**を実施し、PCDA サイクルを回していく必要があるのではないかと。

#### ■「有効活用」を考える!

公共施設を「有効活用」するためには、村民の潜在的なニーズの把握や**利用状況の分析**を行い、**利用してもらいたい人**(ターゲット)を明確にした上で、例えば、子育て世代などの利用しやすい**時間などに開館**するなど使いやすいような工夫を行い、数値面のみを見るのではなく、本当にサービスを必要としている人には、情報が行き届くようにしていく必要があるのではないかと。また、施設のメンテナンスも重要であり、民間の力を使い、効果的な維持管理体制を整えていく必要があるのではないかと。

#### ■「収益性」を考える!

コスト面(維持費や人件費)と管理面において、コスト意識をもって運営を行い、また、**施設利用者の料金**についても条例改正を含めた見直しを行い、例えば、1日パスや年間パスなど、創意工夫をして利用者数を増やすことを考えていければならないのではないかと。

### ③施設評価シートに記載された意見

#### ■東海村の公共施設「ありたい姿」を考える!

##### 1. 公共施設の「ありたい姿」とは何か

- サービスの質と行政の効率化とのバランスと考えますが、方向性をはっきりした方が村民にも分かりやすいと思う

##### 2. 東海村ならではの公共施設とは何か?

- 特になし

##### 3. まちづくり全体ビジョンにおける公共施設の価値は何か?

- 保健福祉のハードソフトを含めたビジョンをそれぞれの役割の位置づけをしたい

##### 4. 公共施設の将来像を考える

- 特になし

#### ■「有効活用」を考える!

##### 1. 現状を知るために必要なことは?

- 利用状況や潜在的なニーズを事業別に把握することで施設の稼働率や利用者の増加が図られ、管理手法や指定管理の裁量アイデアの見直しも有効に機能するのではないか
- 老朽化対策は大変だと思いますが、本来であれば建設時に 50 年程度の計画があるかと思いますので、その計画と比べてどうなのかという観点で評価されると良いと思います
- 潜在的需要(調査も必要)に柔軟に対応するような仕組みづくりを行いたい
- 各部屋の稼働率を上げたいとの課題が挙げられているが、入居する団体又は組織が仕事を実施して

いるのであるから、団体の仕事の評価が個別に必要なではないか

- 来館者数を増やしたいなら、単なるカウンターでのデータではなく、各部署ごとの来館者のデータも必要
- 民間との比較はどうなっているか気になりました
- 延べ人数または正味の利用者数を示さなければ何もわからない
- 利用してほしい人が何人くらいいるのか、どのような人が来ているのかを調べてみると良いと思います
- 社協で難しいのであれば、外部(民間)を入れて調査することも検討されてはいかがでしょうか
- 相談支援センターが見直し内容の整理か分析する役割としての可能性を感じた
- 絆の利用状況をしっかりと把握されることが重要かと思いました

##### 2. 利用者数を増やすために必要なことは何か?

- 視聴覚室の利用促進策と図書館保有の DVD 鑑賞会を行うなど施設など施設間で連携が出来ればと思います
- 利用してほしい人と明文化しても良いかもしれません
- 利用者数を増やしたいとのことで、民間の老人ホーム等の運営ノウハウも参考にすることも 1 つ

- 各センター間で共同したイベント等を行うことで利用率のアップを目指すべきと思います

### 3. 使いやすい公共施設にするために必要なことは何か？

- 縦割りではないか、そこを一元化すればサービスも良くなるインセンティブに出るかと思う
- 利用しやすくなるようにする工夫アイデアを迅速に取り上げる組織を目指してほしい
- 高齢者は自分で運転されない方のため、バスとかあったら行きやすいのでは
- 土曜日を開ける、時間の改善
- システム整備
- ワンストップの窓口があっても良いかと思います
- 他の自治体と比べて、さまざまサービスがあり良いと思っています
- 土日月一回開所するとか、役場みたいに時間外に延長して働いている息子や子どもたちに相談する機会を増やす努力をしてほしい
- 開館時間が主に平日 9~17 時となり、会社員が相談に行くことが難しいと思うので、役場が月数回であるが 19 時まで開いているところを考えると、月 2 回程度でも全館オープンを検討していただきたい
- 多くの機能がありすぎて館内が分かりにくく、入り口すぐの受付もどこに行ってもいいか分からない

### 4. 住民にもっと知ってもらうために必要なことは何か？

- 未病や健康増進の取り組みについても情報発信すると良いのではないか
- 健康な人は行かないというイメージを持っている方が多い可能性がある
- PR 方法についても、東海駅やイオン東海などを中心に認知度向上を行っても良いと思う
- 利用が本当に必要な人にサービスが届くようにもれがなくご努力ください

## ■「収益性」を考える！

### 1. 収益はどう考えたら良いか？

- 特になし

### 2. 受益者負担はどう考えたら良いか？

- 料金（施設利用料）について条例改正等も含めて検討し、さらなる利用者増に向けて取り組みを進めるべき

### 3. 効率化（コスト削減など）に必要なことは何か？

- 管理体制の一元化
- 設備のメンテナンスは平日にやる方が安くできるかもしれませんので、住民へのサービスと併せてご検討してはいかがでしょうか
- 目的に適さない組織またはそれを課さない団体は廃止
- 福祉センター内の有機的つながりを密にして、時に管理部門の人員を減らす努力を行うべき
- 光熱水費は年々上昇傾向で無駄な料金（使っていない部屋を消す）等も必要

## ■個別施設に対する意見

- 介護、身体、精神、知的が主な利用者だと思うが、精神は明確に分けるべき分け方が良いと思う
- LED 交換遅すぎ
- なごみの方向性が気になります、絆への移管の方向でしょう

## ④有識者(参加者)コメント

### ● 東海村総合福祉センター(絆)

- 村・指定管理は委託とは違う(一定の裁量がある)。利用者や収入を増やしたい等、そういった課題解決を図るとなると、相応のアイデア、工夫が必須  
⇒例)1日パスと年間パスをつくる等
- 「条例で決まっている」を理由にしてしまうと何も進まないなので、本当に必要なことであれば条例を変えてでもやる
- 評価はどのように?第3者評価は実施しているのか?それがないと大きな変革は生み出せない(PDCA)
- 評価する基準があるとわかりやすいと思う。  
⇒例)1年間あたり維持管理費用がどれだけ減らせたのか等
- 来館者と利用者数の定義の違いは?  
⇒会議、食堂、手続き等は来館者。利用者数は各センターでやっている事業への参加した数
- 利用者を増やしたいとあったが、ターゲットの整理が必要。また、土日祝日が休みとなっているが、支援(子育て、他相談)が必要な方は仕事している方が多い。そういうことを踏まえるとより利用してもらえる
- ホールの稼働率の考え方について。まず、それぞれのセクション(センター)がどういう状況で使われているかの分析を(利用実態をきちんと整理)することが必要ではないか  
⇒実利用者数把握、指標再検討
- 一方で、公の施設なので数字(利用者数)ももちろんだが、「本当に必要なところにサービスが届くこと」も重要
- 施設のメンテナンスについては「経年劣化だから(これだけかかっても)しょうがない」ではなく、民間の力を使う等、効果的なやり方は引き続き検討した方が良い
- 保健福祉施設の全体像をしっかりと整理した上で、それぞれの施設の位置付けを考えるべき

## ◇区分 4\_行政系施設・産業系施設

### ①判定(個別施設ではなく区分毎に判定)

区分	有効活用(利用状況)について						維持管理について					
	適正	見直しが必要					適正	見直しが必要				
		事業内容	民間活用	使用用途	他	受益者負担		管理手法	総量	他		
外部 有識者	0	4	4	3	3	0	0	4	3	4	1	1
参加者	1	9	4	4	1	1	0	10	1	7	3	1

### ②施設評価シートと有識者(参加者)コメントのまとめ



キーワード・ポイント

住民の生の声

事業評価

稼ぐ力

観光機能の周知

#### ■東海村の公共施設「ありたい姿」を考える!

組織の壁をなくし、全体最適で計画を行い、村全体として、あるべき内容の平準化や合理化を考える必要があるのではないか

#### ■「有効活用」を考える!

使いやすいと思ってもらえるような施設やサービスの提供、例えば、公共交通機関や駐車場の拡充などの交通面を整えることは重要であるが、行政が一方向的に設計するのではなく、実際に使用する**住民からの生の声**を聞いたうえで設計することが重要であり、また、施設の中で行っている事業(**観光機能**)や施設の名前自体についての認知度が低いので、積極的に**広報・周知**していく必要があるのではないか

#### ■「収益性」を考える!

必要十分な施設なのか、必要以上(持て余している)な施設なのかを分析し、コストの削減のみではなく、**自ら稼ぐこと**も視野に入れる必要があるが、現状の条例では施設内での販売行為が禁止事項となっているなどの制限があるので、まずは条例の見直しも視野に入れ、場合によっては民間活力の利用(例えば、民間企業等のタイアップなど)を検討するのが良いのではないか

### ③施設評価シートに記載された意見

#### ■東海村の公共施設「ありたい姿」を考える!

1. 公共施設の「ありたい姿」とは何か?
  - 特になし
2. 東海村ならではの公共施設とは何か?
  - 特になし
3. まちづくり全体ビジョンにおける公共施設の価値は何か?
  - 組織(部や財団、委託先など含めて)の壁をなくし、全体最適で計画すると良いと思います
  - 全体的に設備、施設管理計画や実行は行き当たりばったりになっていると感じます
  - 使う金額、計画の積み上げではなく、全体を見ることが必要です
  - 標準化は組織ごとの「金額」でやるのではなく村全体としてやるべき内容の平準化や合理化を考えてみて下さい
4. 公共施設の将来像を考える
  - 特になし

#### ■「有効活用」を考える!

1. 現状を知るために必要なことは?
  - 特になし
2. 利用者数を増やすために必要なことは何か?
  - 駅にあまりない、情報というか、イベントなどをおいといたりすれば、いいのではないかと
  - スタジオは高校の軽音部に人気が出ると思う
3. 使いやすい公共施設にするために必要なことは何か?
  - メンテナンスの細分化、統一してすぐやる
  - 住民票他書類発行手数料は電子マネー支払いできるのに、保険料は現金のみでした
  - 窓口に行くコンビニ等でも受け付けていますと言われましたが、とても分かりにくかったです
  - 紙が多い気がしていますリモートワークを含めて改善することができませんか、デジタル化できると考えます
4. 住民にもっと知ってもらうために必要なことは何か?
  - 宣伝に力を入れた方が良い
  - アプリだけにたよるのはあまり良くないと思う
  - 創業支援について、空室が埋まるよう情報発信の手法を工夫すべき
  - 観光協会の事業が告知されていない
  - アイヴィルの名称について今回初めて知りました

#### ■「収益性」を考える!

- 収益はどう考えたら良いか?

- コスト削減だけでなく、収益化も公共マネジメントには必要
- 必要十分な施設なのか、必要以上（持て余している）な施設なのかを考えたマネジメントが必要
- 必要以上の施設であれば、自分で稼ぐ手段を考えるべきではないか

#### 1. 受益者負担はどう考えたら良いか？

- 特になし

#### 2. 効率化（コスト削減など）に必要なことは何か？

- アイヴィルについて、必要に迫られると保有する施設として認識できなかった
- アイヴィルは立地条件が良いので、民間委託の貸ビルとして使うのが経費削減につながる

### ■個別施設に対する意見

- 役場はフロアの利用率（有効活用）がどうなっていますか
- 役場は民間ではフリーアドレス導入をしている
- 役場の設備管理には、まだ工夫の余地があると感じ、現状からの改善ではなく、まっさらな状態からどうあってほしいかという観点で考えると良いと思います
- アイヴィルは何を目的にするのかを明確にして、民間も活用しながらどう使うかを考えてはいかがでしょうか
- アイヴィルの創業支援について、目標を設定すると良いと思います創業者を増やしていきたいなら支援金なども検討すると良いと思います
- アイヴィルはイオン東海店と協力して、使用者アップを目指すべきと考える
- アイヴィルの駐車場をイオン東海店駐車場と割り切って駐車場不足を使用者減の理由にしないこと
- 東海まつり開催時に来場者を呼び込む施策を考えていただきたい
- アイヴィルについて、投資経費に見合った成果が生まれていないと思う
- アイヴィルの駐車場不足の解消対策、多目的ホールの利用者を増やす方法考える
- アイヴィルでのパブリックビューイング等の利用
- アイヴィルのフリースペースは学生さんなどがたくさん利用していて、私もこれを機に利用してみたいと思います
- アイヴィルの駐車場が拡張できないなら、廃止か移転
- アイヴィルについて、物販等も利便性が高く実施できるよう条例改正等もうまく実施し、改善できると良い
- アイヴィルではスタジオや多目的ホールの活用方法を考え直す

### ④有識者（参加者）コメント

#### ● 東海村役場

- 職員にとって業務しやすい環境という視点はもちろんだが、住民の方はどれぐらいの頻度でなんの

目的で来庁するのか？

⇒住民票、児童手当現況届、等年に数回（必要がなければいけない）

- 施設が古くて予算も潤沢ではない自治体（例：熱海市）は、PFI 等そういう手法を用いてやっと整備している。東海村はそういう状況でもないの、肅々と維持管理を進めれば良いのではないか
- 会議室が足りないのは、会議そのものを減らせば良いし、時間の分散化を図れば良いだけ  
⇒箱（建物）が変えられないのであれば、中身（会議の在り方）を変えれば良い  
⇒情報共有であれば「会議」という形に固執しなくても良い（グループウェア\_ディスカッション機能の活用）
- 公共交通機関はどのようになっているのか？車前提か？駐車場の利便性の向上予定は？  
⇒駐車場は拡幅工事を行うべく、現在設計中  
⇒公共交通はデマンドタクシーをやっている
- コスト（老朽化）の問題について「平準化」をセクションごとに考えている印象なので、村全体での検討が必要
- 各種整備をする場合は、実際に利用する方の声を聞いてみてはどうか

#### ● 東海村産業・情報プラザ(アイヴィル)

- アイヴィル、というがその名前（愛称）が目立つところに書いていない
- 2億かけて取得し、毎年維持管理で 5,000 万～支出しながら収入は使用料の 200 万。ビジネスで言えば一生ペイできない。しかも「稼ぐ」ということから遠いところにいる行政の直営だ。いっそのこと売却して民間にうまくやってもらえれば良いのではないか。直営でやるにしてもせめて、収支がゼロになるようなルール（条例）整備を目指す必要がある  
⇒禁止事項（条例）に販売行為等が入っている。この部分については施設の特性もふまえ、まずは稼ぐための条件（条例）を整え、その後指定管理等の民間活用の選択肢も必要では
- 駐車場不足というが、例えば隣のイオンとタイアップして（借りることを前提に）やることも考えてはいかがか。イオンにとっても少なからず売り上げアップになるので、ウィンウィンだと思う
- いっそのことイオンに指定管理者になってもらう等、民間活用するならそれくらいしないと
- この施設に限らず、税収が豊かだから稼ぐ姿勢があまりないように見える
- 観光機能が入っていることをはじめて知った。そういう機能があることを周知した方が良いと思う
- 館内の案内標識をテープで作っているところ等を見ると、やはり「行政の運営だな」という印象。民間に任せた方があの建物のポテンシャルを活かせると思う
- 中央公民館、アイヴィルの多目的ホール・スタジオ・ステーションギャラリーの活用方法をもっと探りつつ、（無駄をなくすという）全体的視点をもって有効活用を図れば良いのではないか

## ■8.施設評価シート様式(参考)

<h3>施設評価シート</h3> <p>(どちらかに○) 外部有識者 ・ 自分ごと化会議メンバー</p>		
<b>施設区分: ○○系施設</b>		
区分	1. 施設の有効活用(利用状況)	2. 施設の管理(維持管理コスト)
施設区分としての評価	<input type="checkbox"/> 適正(現状維持) <input type="checkbox"/> 見直しが必要(下記の理由も☑してください※複数可) <input type="checkbox"/> 事業内容の見直し <input type="checkbox"/> 民間による事業展開 <input type="checkbox"/> 使用用途の見直し <input type="checkbox"/> その他 <div style="text-align: center;">( )</div>	<input type="checkbox"/> 適正(現状維持) <input type="checkbox"/> 見直しが必要(下記の理由も☑してください※複数可) <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 管理手法の見直し(指定管理者制度・民間委託の導入等) <input type="checkbox"/> 総量の見直し <input type="checkbox"/> その他 <div style="text-align: center;">( )</div>
	コメント(自由記載)	1. <u>施設区分「○○系施設」</u> に対して、意見がある場合はこちらに記載してください。
2. <u>個々の「○○施設」</u> に対して、意見がある場合はこちらに記載してください。		

令和 5 年度東海村“自分ごと会議”

公共施設の在り方を考える

令和 5 年 10 月



